

！市民のわ

フレッシュさん

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式で紹介します。山本さんは前回の大崎さんの紹介です。



やまもと ひろゆき
山本 裕之さん
(26歳・石崎町)

4年前にオープンした「タケシン自動車」(石崎町)で、オープン当初から働く山本さん。地元の青年団の先輩だった会社の社長さんに声をかけてもらったことがきっかけで、この仕事に就いた。

タイヤ交換から車検の整備など、整備全般をこなし、今後は2級自動車整備士の国家資格取得が大きな目標だという。「今年の夏はあまりにも暑すぎて、仕事が嫌になります」と漏らしながらも、「もともと車好きなので、いつも楽しくやっています。辞めたいと思ったことは一度もないですね」とキッパリ。

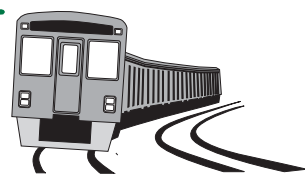
休日は2歳の子ともと一緒に、自宅や公園などでゆっくりと過ごす。来年1月には2人目の子どもも生まれる予定で、楽しみはまだまだ尽きないようだ。

出身地 兵庫県尼崎市



このコーナーでは、県外から市内へ転入された方の声を紹介します。

思えば
遠くへ
来たもんだ



たじま ももこ
多嶋 桃子さん
(36歳・青山町)

平成4年に大学への入学をきっかけに金沢市へ。ご主人が大学時代の先輩だったことと、大学3年生の冬に起きた阪神大震災の影響で地元(尼崎市)に就職先がなかったことが重なり、そのまま石川県に残る決意をした。平成16年には、ご主人の実家がある青山町に住宅を新築し、七尾での生活がはじまった。

「あっち(尼崎)では子どもを遊ばせる公園も少なく、保育園にも入りにくいので、子育ては田舎がいいですね。家の周りが『自然公園』みたいで、友達にも自慢しています」と、若い頃に感じた田舎の寂しい景色も、今ではすっかり気に入った様子だ。

「母(天の母)の実家が能登島なので、新鮮な海の幸をもらえてとても助かります。向こう(尼崎)では、ごちそうといえば『肉』で、海の幸のおいしさをこちらに来て実感しました」と、食に対する考えも変わったようだ。

現在は育児休暇中で、4カ月になる3人目の子どもとゆっくり向き合う日々を楽しんでいる。

市長コラム

世界に目を向けた教育を



七尾市長
武元文平

暑い夏が終わり、学校では2学期が始まった。子どもたちには夏休みの体験を肥やしにひと回りも、ふた回りも大きくなってほしい。特に今年は丸亀市へのリーダー研修派遣、韓国・金泉市への中学生派遣と金泉市中学生の七尾受け入れ、また、学校の先生には中国・大連市の英語教育研修派遣もあり、学ぶことの多い夏休みだったと思う。

そんな中で印象に残ったのは、韓国・金泉市の中学生が非常に元気で積極的なことでした。一般的に日本の若者は内向き志向だと言われるが、韓国に負けているなど正直感じました。

韓国の学校では、「国のため、民族のため、世のため、社会のために役立つ人を育てる」ことが教育の目標として実践されている。日本でも、明治政府が「教育こそ国を興す基」と、身分や貧富の差なく人材を育て、今日世界の列強と肩を並べるまでになった。しかし、最近の日本は子どもたちや学生が内向きになり、進取の精神が薄れてきているように思えてならない。

海外留学を目指す日本の学生が減っているようだ。韓国の学生は、アメリカ留学をするため小さい頃から英語を学び、自分の考えをきちんと主張する訓練をしているようだ。韓国からアメリカへ留学する学生数は約6万人。同世代の学生比では、日本の6倍の学生がアメリカへ留学していることになる。また、アメリカの大学院の博士号取得者の出身大学別ランキングでは、ソウル大学(韓国)が328人で世界第4位、東京大学(日本)は23人で425位に過ぎない。

パソコンやテレビ、家電製品の生産が日本を抜いて世界一になった韓国の実力は、やはり教育にあると思われる。国際交流が盛んになり、英語が世界共通語になる中、英語教育にさらに力を入れなければならないし、日本の子どもたちにもっともっと世界に目を向けるようにしなければならないと思う。世界の中での日本、七尾の将来を見据えて、どんな日本人、どんな七尾人を育てるのが、そのためにどんな教育をするのかを考えさせられた暑い夏でした。読書の秋を迎え、市民ぐるみで今一度考えてみませんか？

市長談話室

市政への思いやアイデアをお聞かせください！

①まちづくりに関すること、②生活環境に関することなど前向きなアイデアをお聞かせください。(個人・グループどちらでも可。1組30分以内)

●9月28日(火) 15:00～17:00
会場：能登島市民センター 1階応接室

●10月12日(火) 15:00～17:00
会場：七尾市役所 1階102会議室
※申し込みは1週間前まで

(公務により中止になる場合あり)

問・申 市民男女協働課 ☎53-8633



このコーナーでは、市内のクラブ活動やサークル活動などを紹介します。



さんのうもり

山王森グラウンド・ゴルフ愛好会

(会長 飯田 年夫さん)



「たくさんの方が集まる憩いの広場にすればいい」と話す飯田会長。県が所有する「七尾市本府中町中能登土木事務所前広場」を、誰でも使える常設のグラウンドゴルフ場として維持管理しながら、活動を行っている。

会が発足したのは平成19年。いつでも誰でも楽しめる場所があればいいとの思いから活動をはじめた。会員は現在43人。年齢層は40歳代から88歳までと幅広く、市内全域から広く集まっているのも特徴だ。活動は偶数日(9～10月)の16時から約1時間程度。技術を競い合う「月例会(個人戦)」と、会員相互の親睦を図る「ペア大会(抽選で選ばれたペア戦)」を毎月1回ずつ開催し、交流にも力を注いでいる。

この広場は、会員だけでなく、いつでも誰でも使えるので、友達同士や親子連れにもおすすめだ。「道具のない方にはクラブと玉を無料で貸し出します。初めての方には会員が丁寧に教えますので、大いに利用してください」とさらなる交流の輪の広がりに期待している。

問 事務局 中森 ☎52-5060